

町政を問う!

一般質問 10議員が質問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開催される定例会で、町政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

本文は質問した議員本人の責任で要約し、執筆した原稿を掲載しています。

関根清隆 議員

- 1 自治体の予算編成に改革を
- 2 自治体のDX化に向けて考えること
- 3 空き家対策について

大賀広史 議員

- 1 教育行政
- 2 空き家対策
- 3 DX推進

森 利夫 議員

- 1 企業誘致について
- 2 地元対策事業と北部地域活性化事業について

小鷹房義 議員

- 1 ごみ対策について
- 2 町道路線の廃止について
- 3 亀井小学校統合の可能性について

野田小百合 議員

- 1 マイナンバーカードについて
- 2 不登校児童生徒への取り組みについて
- 3 誰でも楽しめるスポーツの普及について

根岸富一郎 議員

- 1 ちよっくま（上熊井農産物直売所）と農業振興について
- 2 みなし道路について
- 3 余ったお金の使い道について

中山明美 議員

- 1 誰一人取り残さない学びの場を
- 2 DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進
- 3 带状疱疹ワクチン接種に補助を

石井計次 議員

- 1 河川改修について
- 2 水道行政について
- 3 チャットGPTについて

日坂和久 議員

- 1 町の交通政策について
- 2 安心・安全なまちづくりについて

清水秀幸 議員

- 1 県立鳩山高校の統合再編について
- 2 鳩山町立図書館の利用者サービスの拡充について
- 3 町営路線バス北部線について



関根 清隆 議員

政策予算改革提案

科目ごと⇒事業ごとの予算・決算を提案

必要経費が大、重要事業への捻出に苦慮

事業ごとの予算決算でないと、政策の正確な評価が難しい。

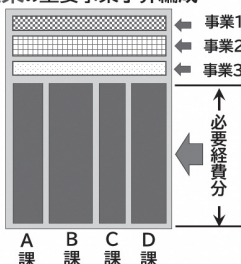
問 予算の審議と決算の認定は現行の科目単位の予算では政策の評価ができない。予算編成は必要経費分と重要事業を分け、事業ごとの予算編成を提案する。(文末図参照)

答 現在は町長の方針に従い、課ごとに予算を配分する枠配分方式で、その中で各課担当の事業の企画立案を行っている。議員提案は理論的には分かるが、現実には必要経費が大きく、事業へどう捻出するか苦慮しており、事業ごとの予算配分は難しい。

問 DX化を進める上でプロジェクトの進め方や、情報処理技術者のスキルを確保できるのか。

答 全国共通の基幹業務システムは令和7年度末に国と県で標準化・共通化が行われるので、それを待って取り組んでいく。県の共同事業はDXに詳しいスタッフを配置し進める。一方、町独自のDXは課を横断したDX推進会議とプロジェクトチームを設置したところ

提案の重要事業予算編成



現行 枠配分方式



で、必要に応じ県のデジタル改革課のサポートを得ながら、研修・事例研究を行い、具体化を進めていく。

問 空き家調査報告書ができたが、特定空き家認定はいつ行うのか。

答 空家等対策協議会を開催し、国や県が示しているガイドラインに基づいて、事例を参考にしながら、年内にも特定空家の判断をしていく。

問 移住推進のため、移住者向けリフォーム補助金50万円を提案する。

答 提案の補助金は、事例もあり、空家等対策協議会で必要性を含めた検討をしていきたい。

大賀 広史 議員



町独自の少子化
対策を加速せよ

鳩山幼稚園

3年保育の実施は

来年度から実施する予定

町立鳩山幼稚園

問 保育所と幼稚園（町外含む）の園児の割合は。

答 保育所61パーセント、幼稚園33パーセント。

問 障がいや様々な問題を抱えている幼児等のセーフティネットとして

公立幼稚園の意義は。

答 医療的ケアが必要な児童が、鳩山幼稚園で支援のもと通園していた。

問 今後の鳩山幼稚園について宮崎新教育長の考えを伺う。

答 来年度から3年保育を実施予定。また6月から幼稚園で給食の完全実施を開始したところだ。

亀井小学校

問 児童数の推移をみると、4年後には複式学級となる見込みだ。統廃合や小中一貫校の検討は。

答 複式学級になるからすぐに始めるとは考えていない。町の小学校全体を見て考えていく。

問 町全体で亀井小存続の取り組みを始めては。

答 課を横断した少子化対策プロジェクトチームで研究していく。

空き家対策

問 空き家等実態調査で判明した空き家の数は。

答 340件と前回調査より129件増加した。

問 調査して終わりにせず、空き家フルテ等を作成し、毎年更新して最新の空き家情報の把握を。

答 データを活用して地域との情報交換も進めていきたい。

問 役場前の空き家は、明らかに景観を害している。特定空き家として町から指導をすべきでは。

答 当該物件については特定空き家の判定に着手した。助言・指導・勧告と手続きを進めていく。



完全給食を始めた鳩山幼稚園

鳩山幼稚園

森 利夫 議員



一刻も早く企業誘致
できるよう、一丸とな
って取り組み

企業誘致

建ぺい率、容積率の変更完了はいつ

8月初旬に、手続きが終了予定

企業誘致

問 区域指定を受けた仮宿地域全体の土地が、建築形態規制変更の対象と考えていた。なぜ変更面積が2.2ヘクタールも減少したのか。

答 区域全体の7.5ヘクタールの建築形態規制の変更を進めていたが、用地買収が完了していない状況であり、早期進出を希望する事業者や地権者等の要望もあり、売買契約済みの土地5.3ヘクタールを対象としたため。

問 これにより、建ぺい率と容積率の変更はいつ完了するのか。

答 8月9日に開催される県の都市計画審議会において、問題がなければ8月中旬に手続きが完了する。

第495号線改修工事

問 道路改修工事では600角のU字溝が敷設されているが、鳩川流入の手前で500パイのヒューム管に接続されている。能勢ヶ沢沼の水路整備でも指摘したが、こ

れで問題ないのか。

答 既設の500パイのヒューム管の勾配が強いので、この接続で放流に問題ないと確認している。

問 本当に大丈夫か。

答 流量計算は通水断面積と流速から求める。沿線の方が降雨時の浸水を心配していたので、600ミリのU字溝を敷設した。

辻川広場護岸等整備

問 整備計画区域内で、第495号線の上流部分の左岸は整備しないのか。

答 計画をしていない。

問 今後改修できる可能性はあるのか。

答 地域と協議をし、今後の対応を検討する。



上流に向かい右岸だけが改修工事の対象に含まれる辻川



小鷹 房義 議員

亀井小学校

児童数が減少しているが

性急に統廃合を進める考えはない

赤松・黒松は
亀井小の宝

ごみ対策について
問 町内道路に長い期間捨ててあるごみは、どのように処理されているのか伺う。
答 町内で不法投棄されているごみの処理は、鳩山町シルバー人材センターにごみ不法投棄監視清掃業務を委託している。
問 最近導入された移動式監視カメラの効果は。
答 行為者を特定し警察と連携した指導につながられた。
町道路線の廃止について
問 町道を廃止して分断された田畑を一つにしようにする場合には、道路の払い下げが必要と考えるがいかがか。
答 廃止する道路は町道として機能しておらず、将来的にも必要のないと認められた道路であることが必要だ。
問 道路の払い下げに必要な手続きはどのようなか。
答 ①町への事前相談、②払い下げ申請書を提出、③公有財産利活用検討委員会での審議、④申請が妥当なものについては分



年代を重ねた赤松・黒松

筆、⑤表題登記の実施、⑥町と申請者による土地売買契約の締結、土地代金納入、⑦所有権移転登記の実施。この過程を経て申請者への払い下げが完了する。
亀井小学校統廃合の可能性について
問 教育委員会の考えは。
答 亀井小学校は今年で創立150年を迎えた県内でも有数の伝統校であり、地域に根ざした食農教育や農業体験を実施している。少人数を活かした特色ある教育を推進している。このことを重く受け止め、性急に統廃合を進めようという考えはない。

多様な学び

不登校は問題行動か

問題行動と判断してはいけない

心と身体を休める
時間も大切だね



野田小百合 議員

問 不登校は問題行動か。
答 文科省の通知に、問題行動と判断してはいけないと記されている。
問 学校教育の縛りから解放してあげることも重要ではないか。
答 登校するという結果のみを目標にするのではなく、社会的に自立することを目指す必要がある。子ども一人一人に合った指導を重ねていく。
問 子どもの権利条例について、教育長の考えは。
答 条例についての考え方は、本町の教育委員会も同じくするもの。今後、も研究を進めていきたい。
マイナンバーカード
問 交付状況は。
答 4月末現在で9013枚。交付率は67・8%。
問 マイナ保険証の紐づけミスなど、トラブルについて町の見解は。
答 国保や後期高齢者医療保険では、町の住民データと突合しており、別人を紐づけることは、基本的に生じない。
問 マイナ保険証は、弱さを抱える人にとって、



卓上カーリング「カーレット」
こどものひろばで体験会

非常に心配なシステム。本町にとって、大きな問題になるのではないかと。
答 5年後、窓口で多くの方が更新の手続をする高年齢や障害のある方など、外出が困難な方の対応は、重要な課題と認識している。今後も国などに、現場の声を伝え、問題解決につなげたい。
カーレット
問 「カーレット」に取り組まないか。
答 高齢者、障がい者、健康者を区分けせず、互いに尊重し合える社会の実現のため、多様な取り組みを検討していきたい。

根岸富一郎議員



農業振興には
ほど遠い！

ちよっくま

あんずはどれだけとれたか

町として把握していない

問 あんずはどれだけ取れて、どれだけ売れたか。儲けはいくらか。

答 あんず栽培は、「加工組合」が取り組み、町として販売や利益等、把握していない。

基本的に、好評と聞く。加工室を利用するジャムも完売。令和5年度より増やして「特産品」にしたいとのこと。

問 「ちよっくま」にニュータウン地域の人に来てもらうために、回送バスなどを利用すればよいのでは。

答 「はとタク」などを利用して、多くの方に来てもらいたい。回送バスは、運行表通り時間などを守る必要がある。

問 みなし道路のみならずとは何か。

答 特定行政庁が指定した道路。この道路に接する土地で、建物を建築するとき、みなされる。

問 判例など考え、建築主事を雇わないか。

答 建築主事はいないが、雇う計画はない。

問 まちづくり推進課と

は何か。

答 良好な住環境の整備等による住みよいまちづくりなどだ。3つの組織使命に基づき各種事業を実施している。

問 学校給食は、一般会計から負担できるか。

答 一般会計で、令和4年度より公会計に。令和5年度から減免事業を実施。さらに交付金を活用し、2〜3学期は無料にした。

問 執行残等、余ったお金は保護者負担をなくすためにも、学校給食費の無料化へどうか。

答 決算剰余金は、経済状況の悪化による税収の減や災害など年度間の財源不足に備えるため財政調整基金に積立てる。



「ちよっくま」って
どう行けばいいの

中山 明美議員



誰一人取り残さない
学びの場を

教育

フリースクール等との連携は

多様な教育機会の確保は望ましい

フリースクール

問 フリースクール等民間施設との連携は。

答 令和元年に文部科学省より通知された不登校児童・生徒に対する多様な教育機会の確保として、より積極的な連携を図っていくことが望ましいとされている。

今後、一人一人の状況に応じて積極的に情報交換や連携に努めていく。

問 「民間施設における通所する児童・生徒の支援の在り方に係るガイドライン」の作成を進めていきたいということだが、何を大切に、大事にして進めていくのか。

答 民間施設に通所する児童・生徒の支援の中で出欠席などをどのように判断するかということがスタートとなっていた。

どのような活動を行っているのか正確な情報の収集を図り、教育機会確保法が求める児童・生徒の学ぶ機会の確保につながっているか、そこを大事に、注視し民間施設との連携を図ってまいりたい。

ワクチン接種に補助を

問 带状疱疹ワクチンはどのようなものがあるか。

答 生ワクチンと、不活化ワクチン2種類。生ワクチンは皮下注射で1回、不活化ワクチンは筋肉内注射で2回の接種を行う。接種費用は生ワクチンは1回約6000円から8000円、不活化ワクチンは1回約1万8000円から2万8000円。

問 助成はどのようか。

答 現在、県から市町村に対し、助成事業の実施に関する調査が行われている。

財政状況を考慮しながら前向きに検討してまいりたい。



発症する可能性を大幅に
低下させることが分かっ
ているが費用が高い



石井 計次 議員

町議会でも早期改修を
国県へ要望

災害対策

鳩川・越辺川河川改修の現状は

用地が一部取得できていない

問 越辺川合流点までの河川改修工事の現状を伺う。

答 全ての用地取得が完了できていない状況。

既に着手している左岸側の工事に続き右岸側の堤防工事を予定している。しかしながら事業用地の買収が完了していないため国・県・町は意見交換を行っている。

問 現段階の令和6年度7年度工事計画を伺う。

答 鳩川に架かる重郎橋撤去工事、右岸側護岸工などの工事となる。

なにぶん、用地買収が完了していないため取得に向けて務める。

問 用地買収など多くの課題があり完成年度が見えない。地域の方々の安全を担保するため議会も一丸となって取り組んでいく。昨年12月設立の連携促進協議会の構成を伺う。

答 以前から、越辺川・鳩川改修に関する要望をしていた。昨年の豪雨災害があり設立されたと理解している。

問 促進協議会の構成を

ンバーを伺う。

答 国の荒川上流河川事務所担当課長、埼玉県河川砂防担当課長、鳩山町担当課長となっている。

問 重郎橋上流の左岸については、用地買収は完了しているが、右岸の未買収区間を伺う。

答 提体の距離は19メートル、面積は約273㎡。

問 未買収区間がある現状を鑑み、内川と鳩川の合流域付近に庁舎内で監視できる定点カメラの設置を要望する。

答 被害の軽減からも積極的に設置に向けて進めていく。



昨年7月12日の大雨による堤防の崩落（鳩川・越辺川合流域）

新公共交通計画

新たに策定する計画が不認定の場合の影響は

デマンド運行の国補助や特別交付税がなくなる

地域公共交通計画

問 新たに地域公共交通計画を策定する必要性や目的は何か。

答 法律改正に伴い、既存の公共交通サービスを最大限活用するうえ、福祉関連移動サービス等の輸送資源を盛り込み、持続可能な地域旅客運送サービスを確保する。

問 新たに策定した交通計画が認定されない場合の、町への影響は。

答 デマンドタクシー運行の国庫補助金や、運行に係る町費の8割を補う特別交付税のカットだ。

問 町は、いくつかの交通計画を策定し、実施してきた。判明した課題について、解消に向けた取り組みを盛り込むのか。

答 特に重要なのは、一般公共交通と福祉的移動サービスを共存・連携させるための位置づけだ。

防災・災害対策

問 防災行政無線の「聞こえない」と「聞こえ」の相反する問題にいかに対応するのか。

答 このことは認識して

計画が認定されないと、
運行費用はとつなる



日坂 和久 議員

いる。近隣自治体では、

要不要箇所を調査し、屋外スピーカーを間引いている。これは、戸別受信機の普及が理由だ。

問 戸別受信機の導入を提案するが、いかがか。

答 進めて行きたい。

問 体育館を避難所とする場合、温度調整設備の充実が必要と思うが。

答 最低限はある。防災担当として、更に充実した設備が望ましい。

問 教育施設の管理担当の見解は。

答 更なる充実を図りたい。

問 学校施設環境改善交付金を活用できないか。

答 温度調整設備の設置支援として、大規模改修の際に活用できる。



新たな公共交通計画の認定を受け、
運行費用の確保を

清水 秀幸 議員



図書館は知の宝庫。学びを止めないで！

図書館の利用拡充

本の宅配サービスの早急な導入を

令和6年度中にサービス実施へ

問 鳩山高校の統合再編
鳩山高校廃校後の対策として、今後、鳩山町として行うことは、所有者である県当局と早急に協議を進め、土地建物の有効活用を図ることが大事と判断しており、町として今後の跡地の利活用方針について何かあるのか。

答 跡地の利活用方針は、今後、県策定の新校基本計画の中で示され、現在、具体的な利活用に関する町との協議は行われていない状況である。

図書館 返却ポスト増設

問 利用者の利便性向上により、図書利用を拡大するため、返却場所の「ブックポスト」を役場ロビー、今宿コミュニティセンター、ふれあいセンター等に増設していくことはできないか。

答 設置に要する費用及び資料の回収から返却処理を行うまでの時間を考慮した管理運営上の課題

や場所の確保などの課題を見定め、増設について検討していきたい。

図書館 本の宅配

問 障害者だけでなく、高齢者や妊産婦、育児や介護している人等、本を借りたくても図書館に行けない人たちのために、早急に、本の宅配サービスを導入することはできないか。

答 具体的な宅配サービスの実施方法等について検討を行うよう担当者に指示し、令和6年度中の宅配サービス試行的実施に向けて進めていく。



本で、みんなしあわせ。

議員有志による

議員政策研究会を発足しました



会の目的について

この度の議員改選を受けて、新たに議員政策研究会を発足しました。

研究会で、様々な研究をもとに、議会から多様な提案をしていけるよう、取り組みます。

互選の結果、大賀副議長が会長、関根議員が副会長となりました。

更なる議員の資質向上、議会からの発信力を高めていきます。

鳩山町議会
これまでの取り組み

平成27年度～(第17期)

「どうする? 鳩山町議会活性化特別協議会」を発足。

同年の無投票選挙を受けて、議会活性化の取り組みを研究。次回無投票にしないための協議の最初の議会報告会を開催。

平成30年3月議会にて議員定数を13人から12人に削減する条例改正案が賛成多数により可決。

令和元年度～(第18期)
「議員有志勉強会」を発足。

議員の資質向上、また議員間の意見交換、情報共有を図る目的で設置。

令和2年3月議会にて起債残高削減の決議を全会一致で可決。

令和3年3月議会から予算審査特別委員会、9月議会から決算審査特別委員会を設置し、より専門的に審査を開始。

